

「被災者台帳管理ユニット」製品 地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト

APPLIC 登録番号： K000385-0001 ★APPLICで記載

(1) 対象標準とバージョン

APPLIC-0002-2017
 ・防災業務アプリケーションユニット標準仕様 被災者台帳管理V1.0
 ・プラットフォーム通信標準仕様V3.1

(2) 地域情報プラットフォーム準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日): 2017年5月19日

(b) 申請区分(新規、修正、破棄): 新規

(c) 申請者

団体名: 地方公共団体情報システム機構 ★識別キー項目1
 団体のURL: <https://www.j-lis.go.jp/> (識別キー項目3つで
 APPLIC会員番号: K000385 ユニークになるように
 申請者が指定する)

(d) 製品情報

代表製品名: 被災者支援システム ★識別キー項目2

製品説明のURL: https://www.j-lis.go.jp/rdd/hisaisyasiensys/cms_91013798.html

複数製品で構成する場合追記:

複数製品で構成する場合追記:

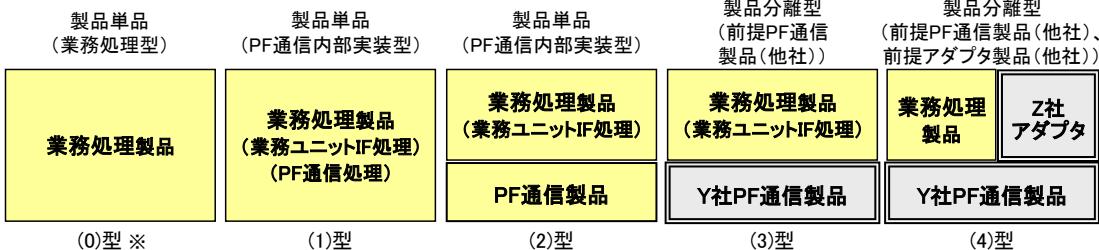
複数製品で構成する場合追記:

製品識別情報(バージョン等): V8.00 ★識別キー項目3

リリース日(予定)(西暦年月日): 2017年7月1日

対応OS: Linux(サーバ)、Windows(クライアント)

製品の形態((0)型から(4)型): (1)型



※(0)型を選択できるのは、要件1-2 準拠ルール②に対応しない製品のみです。

前提となるPF通信製品

前提PF通信製品名:

前提PF通信製品名:

前提のアダプタ製品名:

※1 (2)型から(4)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。
 ※2 (4)型の場合、準拠確認対象製品のサービスインターフェースを実現するアダプタ製品の製品名を記載する。

(e) 製品のクラウドでの提供について

提供の有無: サービス提供中

参考となる情報(オプション):

対応可能なネットワーク:
 LGWAN: 実績あり
 専用線(閉域網): 実績あり
 インターネット: 対応可能

(3) 地域情報プラットフォーム準拠確認チェック項目(準拠ルール)

◎:対応、○:制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)

番号	要件	準拠ルール	必須/ 選択	製品 確認	APPIC 確認欄
1	被災者台帳管理	自治体の防災担当部門や福祉担当部門等が整備・運用する被災者台帳の作成や管理を支援し、発災後の被災者生活再建支援に係る業務支援に寄与することを実現する。		◎	○
1-1	被災者台帳管理ユニットが提供する機能を持つ	被災者台帳管理ユニットは、標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (防災業務アプリケーションユニット標準仕様 被災者台帳管理【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須	◎	
1-2	被災者台帳管理ユニットのインターフェースを持つ	①被災者台帳管理ユニットは、標準仕様のインターフェース一覧で規定されている、被災者台帳管理ユニットの防災連携CSVファイルをインポートできること。 (インターフェース番号AB12-01～AB12-06(防災業務アプリケーションユニット標準仕様 被災者台帳管理【業務1-9】のインターフェース一覧を参照)) ②被災者台帳管理ユニットは、自治体基幹系システム(業務ユニット)に対して、標準仕様のインターフェース一覧で規定されているSOAPのサービス呼び出しのインターフェースを持つこと。 (インターフェース番号AB12-11～AB12-15(防災業務アプリケーションユニット標準仕様 被災者台帳管理【業務1-9】のインターフェース一覧を参照))	必須 選択	◎ ◎	
1-3	コード辞書に対応	防災連携CSVファイルによるデータ連携時に、標準仕様のコード辞書に定義された値に変換できること。 (防災業務アプリケーションユニット標準仕様 避難行動要支援者名簿管理・被災者台帳管理【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須	◎	
		SOAPによるデータ連携時に、標準仕様のコード辞書に定義された値に変換できること。 (防災業務アプリケーションユニット標準仕様 避難行動要支援者名簿管理・被災者台帳管理【業務1-13】のコード辞書を参照)	条件付き必 須(※1)	◎	
1-4	PF通信機能を持つ	①被災者台帳管理ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。 ②被災者台帳管理ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、プラットフォーム通信標準仕様として公開されるXMLスキーマにて定義される共通ヘッダの処理ができること。 ③被災者台帳管理ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	条件付き必 須(※1) 条件付き必 須(※1) 条件付き必 須(※1)	◎ ◎ ◎	

注(※1):要件1-2 準拠ルール②に対応する場合、必須である。

備考欄(前提条件や制限事項)

--